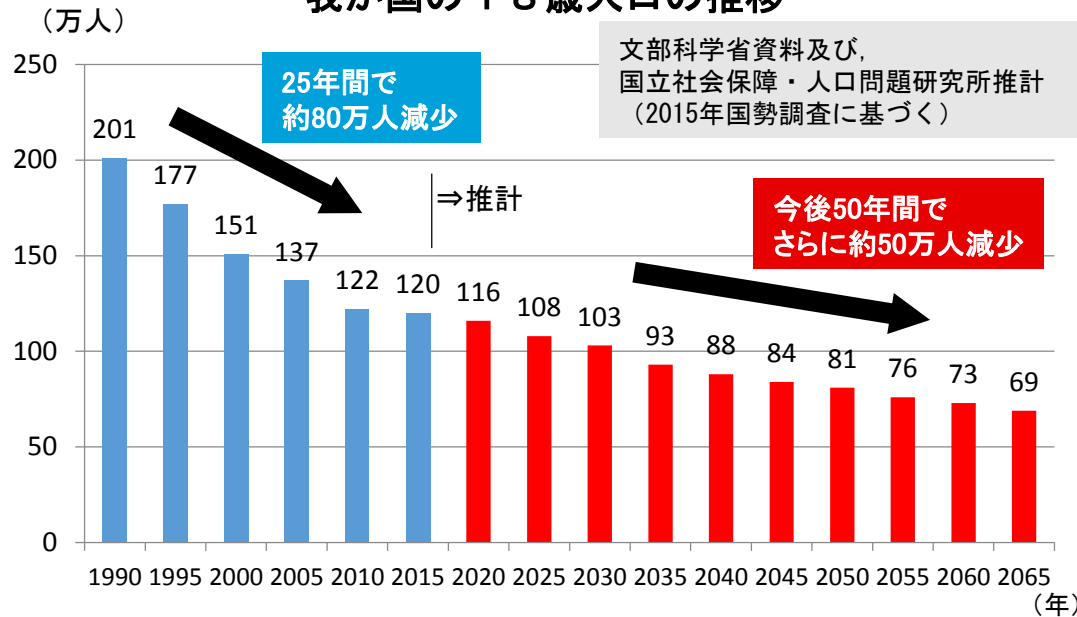
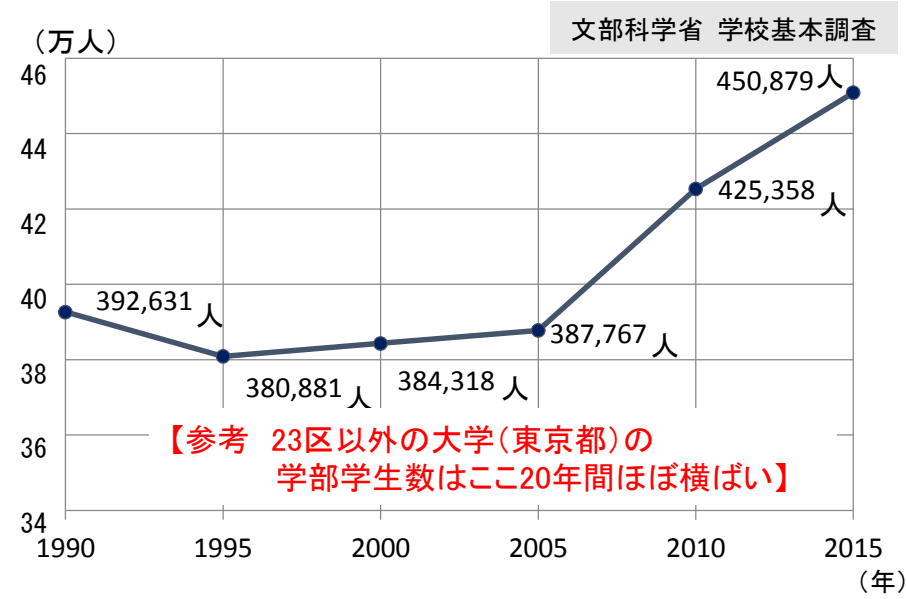


大学の東京一極集中の是正及び地方大学の振興について

我が国の18歳人口の推移



東京23区の大学の学部学生数の推移



【提言内容】

① 東京23区における大学の東京一極集中の是正

18歳人口は、この25年で約80万人減少しており、今後50年で、さらに約50万人減少すると推計される中で、東京圏への学生の東京一極集中は進み、とりわけ、東京23区の大学学生数が増加していることから、東京23区における大学の増設及び定員増を行わないことについての法整備を含めた抜本的な対策を講じていただく必要があると考える。

② 大学の地方移転の促進・大学生の地方就職支援の推進

東京圏に学生が集中していることを踏まえ、東京圏の大学の地方移転促進を図るべきである。また、東京圏の大学による地方へのサテライトキャンパスの設置や、地方大学との単位互換制度等の取り組みを進めていただきたい。その際、都道府県別の大学進学者収容力(※)に大きな地域格差があることから、大学進学者収容力の低い地域を優先して実施すべきと考える。(東京都の大学進学者収容力は約200%と突出する一方で、例えば、長野県、三重県、和歌山県は40%を下回っている。)また、就職時の東京一極集中是正について大学が担う役割は大きく、地方創生インターンシップの推進等に加え、地方へのUIJターン就職の学生数等を大学の交付金や補助金の評価基準に加えるなど、大学による地方就職支援の取り組みを真剣に、かつ強力に進めていただきたい。

※大学進学者収容力(%)

=県内の大学の入学定員/県内の高校の卒業者のうち大学進学者の数×100

③ 地方大学の振興

地方大学での、地域ニーズを踏まえた学問分野の再構築や人材育成、地域産業の振興に資する取り組みを、積極的に支援していただきたい。こうした地方大学の魅力向上につながる取り組みを推進することに加え、地方大学の大学設置基準の弾力的運用や入学定員充足率に係る基準の緩和、財政面での支援等、多角的な観点で地方大学に優位性を持たせる取り組みを進めていただきたい。

◎なお、②③についても地方大学の振興によって地方創生を推進していく旨を、具体的に法律に記載していただきたい。

地域連携による移住定住促進に向けた倉敷市の取り組み

高梁川流域連携中枢都市圏では、圏域と三大都市圏間の社会動態の改善を目標のひとつに掲げ、移住定住施策を推進。圏域内への移住検討者を対象とした「お試し住宅」では、約1年半の運用で20組・45人の移住につながっている。

良好な住環境の全国への発信

- 「高梁川流域LIFE STYLE BOOK」の作成（1万部）
これまで各市町で取り組んでいた移住施策に加え、各市町への先輩移住者を紹介した移住促進冊子を共同で作成し、まち・海・山などの多様な住環境の魅力を持つ圏域内の7市3町を一体的に全国に発信
- 高梁川流域7市3町の移住ポスターの作成
- 高梁川流域移住ポータルサイトの開設 等



高梁川流域LIFE STYLE BOOK

高梁川流域7市3町の移住ポスター

大都市圏での移住相談会への合同出展

- 移住相談会への圏域自治体による合同出展の実施
 - 出展回数
 - 【H27】 1回（東京）
 - 【H28】 6回（東京4，大阪2）
 - 延べ相談件数
 - 【H27】 55件
 - 【H28】 265件



移住相談会（東京）への合同出展の様子

圏域を対象としたお試し住宅の運用

- 「倉敷・流域お試し住宅」の運用
 - 対象 : 高梁川流域7市3町への移住検討者
 - 開設日 : 平成27年10月
 - 場所 : 倉敷市内（JR新倉敷駅まで徒歩約12分）
 - 部屋数 : 6室 ※開設時の3室からH28に1室、H29に2室増
※民間賃貸住宅の一部を借り上げ
 - 移住検討者へのサポート体制 :
 - くらしき移住定住推進室を設置し、利用者の住まい探しや就職活動等に対し、民間との連携により移住に向けた支援を行っている
 - ・ 移住・子育て支援NPOによる移住相談会の実施
 - ・ 就職相談窓口による就職支援（東京と倉敷市内に2か所設置）
 - ・ 人材不足の介護分野と移住検討者との就職先のマッチング 等
 - 利用実績（H29.3末現在）

	利用者数	移住者数
全体	229人 (100組)	45人 (20組)
三大都市圏 ※全体の内数	156人 (68組)	30人 (12組)
東京圏 ※三大都市圏の内数	74人 (33組)	21人 (7組)

利用者のうち、2割が圏域に移住!

三大都市圏、特に東京圏からの移住者が多い

- 移住先
 - 倉敷市 : 29人 (14組)
 - 圏域内の市町 : 16人 (6組)

(内訳) 高梁市4人(1組), 総社市7人(2組)
井原市3人(2組), 浅口市2人(1組)



倉敷・流域お試し住宅 2